



りんくうキャンパスに関する活動



中百舌鳥キャンパスとりんくうキャンパスでは、施設の利用時間の違い、実験設備負担金の導入の有無など学生を取り巻く環境が大きく異なり、両キャンパス間で学生にとって本当に必要な活動は異なっていると学生自治会は考えます。そのため、りんくうキャンパスの学生の実情に即した活動ができるよう、りんくうキャンパスに関する活動を行っていきます。

りんくうキャンパスにおける情報収集・情報宣伝活動を行います。

意見箱やアンケートなどの情報収集手段を活用して、りんくうキャンパスの学生が置かれている実状の把握に努めます。

また、より多くのりんくうキャンパスの学生が学生自治会に関心を持ち、意見を発していくことができるように、りんくうキャンパスにおいても大学や学生生活に関わる情報、学生自治会の活動に関する情報の発信を行います。



学生団体連絡会議



学生自治会は、学生団体間での情報交換を行うとともに、各団体の活動が円滑に進められるように、月に一度、学生団体連絡会議(以下、学団連)を開き、学生団体間での調整を行っていきます。

①学団連を開き、情報交換・調整を行います。

月に一度学団連を開き、学生団体間での情報交換を行うとともに、各団体の活動が円滑に進められるように、学生団体間での調整を行います。また、単独の学生団体だけでは解決が困難な問題が発生した場合、団体間で協力し、問題の解決に努めます。

②学生センターとの話し合いを行います。

学団連の構成団体として、大学の情報や実状の把握、大学との意見交換を行うことで大学と学生の相互理解を深めることができるように、月に一度、学生センターとの話し合いを行います。また、学生センターとの話し合いにおいて、学生にとって有益な情報が得られた場合、自治会総合情報誌『NASCA』や『Twitter』などの情報宣伝手段を活用し、学生に発信します。